

「越後妻有の冬 2026」を開催します

越後妻有の冬の魅力を発信する大地の芸術祭通年プログラム「越後妻有の冬 2026」を開催します。

1 開催期間

令和8年1月24日（土）から3月8日（日）までの33日間 ※祝日を除く火水定休
※開館日や企画展の開催日は施設によって異なります。

2 プログラムの概要

（1）開館施設

- MonET、農舞台、奴奈川キャンパス、光の館、キヨロロ、清津峡渓谷トンネル、アケヤマ

（2）オフィシャルツアー

- 毎週土日祝は越後湯沢駅発着のオフィシャルバスツアーを運行。ツアー限定の「雪見御膳」を提供するコースや、厳冬期の秘境秋山郷を巡るコース等を用意

（3）企画展

①越後妻有里山現代美術館 MonET

屋外企画展「ホンヤラドウーSnow Meeting」

ディレクション：BankART1929

参加作家：6lines studio+塚本由晴、山本愛子、井原宏路

②まつだい「農舞台」フィールドミュージアム

「山に沈む、谷に浮く」

参加作家：狩野哲郎

③まつだい郷土資料館

「季節をとじる、恵みをひらく」

参加作家：田中望

④奴奈川キャンパス

「断片的な逸話（アネクドート）」

参加作家：大村雪乃

（4）イベント

- ①まつだい「農舞台」フィールドミュージアム：「里山雪の遊園地」（2/21（土）～3/8（日）の土日祝）

②アケヤマ 一秋山郷立大赤沢小学校－：シンポジウム「都市と山、共に生きる方法を考える」(2/28 (土)) ほか

(5) 十日町雪まつり連携企画

- ・西小グラウンド「スノウリッチひろば」にて、奴奈川キャンパスで企画展を公開する大村雪乃による巨大な丸シールワークショップと作品展示を行います。

3 共通チケットの販売について

- ・会期中公開する作品を鑑賞できる共通チケットを販売します。特典として、十日町市博物館の入館割引など。
※一部作品は別途チケット購入が必要
料金：一般2,000円、小中800円、小学生未満無料

4 その他

- ・十日町市、津南町の小中学生には共通チケット（小中）を無料配布します。

5 添付資料

- ・「越後妻有の冬 2026」

■お問合せ先

十日町市文化観光課 芸術祭企画係

担当：瀧澤、富田 **☎**025-757-2637 (内線517)

2025/12/22

越後妻有の冬 2026

●名称

越後妻有の冬 2026／Echigo-Tsumari Art Field Winter 2026



●会期

2026/1/24(土)～3/8 (日) 祝日を除く火水休

※2/11 (水祝) 2/23 (月祝) は土日祝開館の施設は開館 計 33 日間

(参考：十日町雪まつり：2/20, 21, 22)

●開館施設・作品

施設	備考
越後妻有里山現代美術館 MonET	10:00-17:00(最終入館 16:30) 火水定休
まつだい「農舞台」 まつだい郷土資料館	10:00-17:00(最終入館 16:30) 火水定休 ※手をたずさえる塔、松代城は非公開
最後の教室	土日祝のみ開館 10:00-16:00
奴奈川キャンパス	土日祝のみ開館 10:00-16:00
キヨロロ	9:00-16:00 (最終入館 15:30) 火水定休
清津峡渓谷トンネル	【2月まで】9:00-16:00 (最終入坑 15:30) 【3月以降】8:30-17:00 (最終入坑 16:30)
光の館	11:30-15:00 (最終入館 14:30)
アケヤマ－秋山郷立大赤沢小学校－	土日祝 10:00-15:00

●オフィシャルツアー

①冬のエチゴツマリコース【まんぶく雪見御膳便】

催行日：1/24 (土) -2/7 (土) の毎週土曜日、2/14 (土) -3/7 (土) の毎週土日
越後妻有の厳しくも美しい雪と、冬限定のアート作品を楽しむ日帰りバスツアー。
昼食は雪国の知恵と文化が詰まった越冬料理をお楽しみいただけます。日程
により「雪見御膳」(昼食)で立ち寄る集落が変わります。集落のお母さんたち
が腕を振るう料理やあたたかいおもてなしをご提供します



【雪見御膳の実施集落／地区】10集落

東下組、東部地区、上新田、松代、浦田、下川手、室野、上郷、新町新田、松乃井

②豪雪の秘境秋山郷コース [日帰り便／かたくりの宿に泊まる 1泊 2日便]

催行日：1/24-3/8 の毎週土日祝（2/28 は除く）

※1 泊 2 日便は毎週土+祝前日出発のみ

個人では訪れるのが難しい真冬の秋山郷へ。ダイナミックな渓谷美の「清津峡渓谷トンネル」と、人間が生きるために必要な術を山から学ぶをコンセプトにつくられた「アケヤマ」に立ち寄り。昼食は地元の食材で心も体も温まる料理をかたくりの宿にてご提供。厳冬の秋山郷でしか出会えない、凛とした美しさと静けさを体感してみませんか？



③越後妻有の小正月ツアーナー（2泊3日）

催行日：1/10（土）-1/12（月祝）

松之山の小谷集落で、一年の無病息災や豊作を祈る小正月行事「鳥追い」と「どんど焼き」を体験。ハレの日の越冬料理を味わえるほか、地元の酒蔵見学、縁起物のちんころづくりなどの体験も盛りだくさん。



④越後妻有の林間学校 2026・小正月（2泊3日）※小中学生限定

催行日：1/10（土）-1/12（月祝）

松之山の三省地区で五穀豊穣を祝う小正月行事「鳥追い」と「どんど焼き」を2泊3日で体験。廃校を改修した大地の芸術祭の宿泊施設「三省ハウス」に滞在し、地域の方と交流しながら雪国の暮らしを満喫できます。地域の越冬料理を味わえるほか、餅つき、ちんころづくり、ピザ作り体験など盛りだくさん。東京駅改札前よりガイドが引率して越後湯沢駅に向かいいます。

⑤越後妻有の林間学校 2026・冬 ※小中学生限定

催行日：2/28（土）-3/1（日）

スノーシューや作品ワークショップなど越後妻有の冬を味わう体験が盛りだくさん。地域のお母さんが作る雪見御膳も体験できます。お子さま向けの雪国の暮らしを存分に体感できる内容です。

・十日町雪まつり連携企画

日時：2/21,22

十日町雪まつりスノウリッチひろば（十日町市立西小学校）にて、大地の芸術祭連携企画を開催。奴奈川キャンパスで企画展を開催する作家・大村雪乃による、巨大な丸シールワークショップと作品をお楽しみいただけます。どなたでもお気軽に立ち寄りください。

作家：大村雪乃

・会期中実施の企画展／プログラム(予定)

◆越後妻有里山現代美術館 MonET

屋外企画展「ホンヤラドウーSnow Meeting」

日時：冬プロに同じ（ライトアップは1、2月は20時まで、3月は21時まで）

・夏秋に好評だった「こたえは風に吹かれている」と同じくBankART1929によるディレクションの企画展を開催。



・アトリエ・ワン共同主催の塚本由晴と、塚本研究室出身の大山亮、片山果穂、笹木聖、渕野剛史、増井柚香子、宮崎陸による建築コレクティブ・6lines studio がつくるかまくらが MonET の池に登場。夏秋に参加した山本愛子、井原宏蔵も新展開として参加。会期中にはワークショップも実施します。

連続企画展 vol.9

日時：1/24(土)-3/22(日)

作家：倉知朋之介

ゲストキュレーター：保坂健二朗

倉知は日常生活のなかで脈略なく発生する「可笑しさ」と、それを生じさせる事物の振る舞いに着目し、自らが主演・演出を手がけた映像インスタレーションを制作している。本展示では、新作の映像を軸としたインスタレーションを中心を展示します。



◆まつだい「農舞台」フィールドミュージアム

里山雪の遊園地

日時：2/21～3/8 の土日祝

降雪期フィールドミュージアムは真っ白な雪に覆われます。道さえなくなって、春～秋の姿からは想像もできないフィールドミュージアムで、季節限定のアート、地域体験、スノーアクティビティをお楽しみください。

具体的な内容：スノーチューブ、バナナボート、雪板、ソリ、お餅焼き体験 ほか

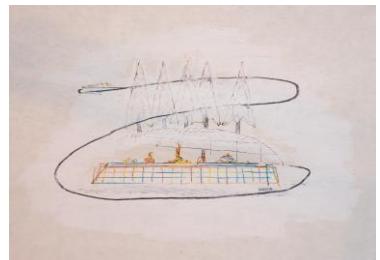


企画展「山に沈む、谷に浮く」狩野哲郎

日時：2/21～3/8 の土日祝

夏～秋にかけての展示「あいまいな地図/明確なテリトリー」を、さらに雪という自然のテリトリーが広がる冬に展開させる試みです。

「雪に埋もれる作品」と「雪に浮かぶ作品」によって、自然と人間の「縛張り」が入り組む越後妻有の環境を知るインスタレーション。



どんど焼き体験

日時：2/22 (日) ※要予約

越後妻有地域では集落ごとに旧正月（1月15日頃）に小正月行事を行います。

わらで作った櫓を燃やし、その年の稲作の作柄を占います。地域の方と一緒にやぐらをつくるところからどんど焼きを体験しましょう



松代城をめざしてかんじき歩き

日時：3/8（日） ※要予約

雪に閉ざされたフィールドミュージアムに、雪上を歩く道具「かんじき」を履いて繰り出しましょう。春～秋とは違った松代城と、そこからの眺めをお楽しみください。



◆まつだい郷土資料館

企画展「季節をとじる、恵みをひらく」

1/25(日)～3/22（日）祝日を除く火水休※3/9 以降は個別鑑賞券での入館

作家：田中望

かつて春に取った山菜を乾燥させたり、秋に取ったきのこを瓶づめにした保存食は、畠や田んぼから作物を収穫できない冬に大事に食べられ、豪雪地の食を豊に彩っていました。今では作り手も少なくなってきた保存食をテーマに地域のリサーチを行い、暮らし、生業を軸とした季節のつながりや多様性をひもときます。



囲炉裏でお餅体験

上記期間の土日祝開催。囲炉裏を囲んでお餅を焼いて食べます。企画展で紹介する保存食の試食も行います。

◆奴奈川キャンパス

大村雪乃企画展

日時：冬プロ期間の土日祝

文房具用の丸シールを用いて写実的でありながら抽象的な作品をつくる大村雪乃による企画展を開催。展示とあわせて館内では、越後妻有をモチーフにした風景を、丸シールで描くワークショップをお楽しみいただけます。



雪上グラウンド

日時：冬プロ期間の土日祝

普段はなかなかできない雪遊び体験を手軽にできる雪上グラウンドが今年も登場！巨大福笑いや雪玉あてに加えて、積雪量に応じて遊べる内容が週替わりします。



◆アケヤマ

シンポジウム「都市と山、共に生きる方法を考える」

日時：2/28(土)14:00-16:00

芸術人類学者の石倉敏明氏をお招きしシンポジウムを行います。

石倉氏は秋田公立美術大学で教鞭をとりながら山の信仰や芸術人類学の研究を行なっています。今回は豪雪の秋山郷に実際に足を踏み入れて貰い、秋山の山の信仰の意味と芸術との関わりを語ってもらいます。

登壇者 | 1部：石倉敏明 2部：石倉敏明、深澤孝史、永沢碧衣

※シンポジウムに参加する日帰り＆宿泊ツアーも運行



◆かたくりの宿

豪雪の秘境秋山郷に泊まる 宿泊プラン

日時：1/8～3/28 (木金土日祝前日)

かたくりの宿に泊まり豪雪の秘境秋山郷を体感できる1泊2食付きのプランです。スノーシューを履いて、「つなぐ棚田遺産」にも選ばれた「結束の石垣田」をガイドと共に雪上散歩も出来ます。



◆「森の学校」キヨロロ

企画展「美人林ものがたり -里山の美しきブナの森の秘密-」

日時：～3/8 (日) 火水定休、祝日の場合は開館し翌平日を休館

●共通チケット

料金：一般 2,000円 小中 800円

※十日町市、津南町内の全小中学校の児童生徒に対して共通チケット(小中)を無料配布

※夏秋同様、アソビューにてオンライン販売を実施

販売期間：冬プログラム会期に同じ

販売場所：MonET、明石の湯、農舞台、奴奈川キャンパス、最後の教室、キヨロロ、光の館、清津峡渓谷トンネル、アケヤマ、十日町総合観光案内所、清津峡観光案内所、松代・松之山観光案内所、津南町観光協会、クロステン



《チケット概要》

入館は1回目まで無料、2回目は半額

●対象施設

MonET、明石の湯、農舞台・資料館、最後の教室（土日祝）、奴奈川（土日祝）アケヤマ（土日祝）、光の館

●対象外（割引）施設

- ・清津峡→半額（一般 500円、小中 50円割引）
- ・キヨロロ→半額（300円引き）

●その他チケット特典 ※1回のみ

- ・博物館割引：100円引き（冬プロ期間中は毎週月曜定休）
- ・明石の湯の割引：100円引き（何回でも）

●その他

芸術祭公式イベントページ

メディアキット

